

## 7・4 外航日本人船員（海技者）の確保・育成スキーム

国土交通省、全日本海員組合、国際船員労務協会および当協会の4者で構成する「外航日本人船員（海技者）確保・育成推進協議会（事務局：日本船員雇用促進センター、SECOJ: Seamen's Employment Center of Japan）」は、平成26（2014）年度より、未就業の三級海技士資格受有者が1年間研修し、外航船社への就職を目指す「外航日本人船員（海技者）の確保・育成スキーム（以下、スキーム）」を実施している。

このスキームは、協議会が毎年、大手船社の採用試験が終了した直後に実施する「外航船員の採用意欲のある企業と三級海技士資格受有者（含む予定者）の合同面談会（マッチング）」において企業と合意の得られた者を研修生としてSECOJに登録の上、原則10月から1年間、海技大学等による陸上研修、外航商船による乗船訓練を経て、外航船社への就職を目指すという制度である（マッチングの結果、研修を受けることなく、直接、採用となる者もいる）。スキームの定員は年20人程度、研修生には月額10万円の研修手当が1年間支給される。

平成29（2017）年3月1日現在の状況は以下の通り。

	参加者 (A)	海事産業就職者				自主 退出 (C)	在籍者数 (A-B-C)	
		合計 (B)	外航	内航	他			
旧制度(旧1期生～旧8期生)※	98	83	52	18	13	15	0	
2014年度 合同面談会	直接採用者	5	5	5	-	-	-	
	H27年度生 (新1期生)	7	6	6	0	0	1	
2015年度 合同面談会	直接採用者	4	4	4	-	-	-	
	H27年度生 (新1期生)	6	6	5	0	1	0	
	H28年度生 (新2期生)	16	0	0	0	0	0	
2016年度 合同面談会	直接採用者	3	3	3	-	-	-	
	H29年度生 (新3期生)	11	H29年10月より訓練開始予定					
新スキーム生就職実績		52	24	23	0	1	1	16
新旧制度の合計		150	107	75	18	14	16	16

※平成22（2010）年度～平成27（2015）年度までは現在とは異なるスキームを実施。